２．事業の概要と成果	
（１）上位目標	長期にわたって紛争の影響を受けた北部帰還民の生計が向上・安定し、帰還民が自立して生活できるようになる。コミュニティが再生・活性化されることで協力して自分たちの生活を改善していく力を身に付け、地域の安定や平和の定着に貢献する。

（２）事業内容

本事業は、北部ムライティブ県オッディスダン郡とキリノッチ県パッチラパライ郡において、（ア）農業生計回復支援（イ）コミュニティ再生支援に取り組んでいる第２期目の事業である。

（ア）農業生計回復支援

①農業用井戸建設（40 基）

事業開始前の事前調査で仮に対象としていた3地区の全227世帯に対してベースライン調査を実施した。裨益者には(1)女性家長 (2)障害者家長かつ(3)仮設住宅住まいという最も脆弱な世帯を中心に選定した結果、対象 3 地区では計画していた 80 世帯には届かないことが判明した。地方行政との話し合いの上、事業完了後数か月が経過した第 1 期の対象 3 地区（同郡内）においても、追加のベースライン調査(292 世帯対象)を実施した。その結果、上記の選定基準を満たし未だ支援の手が行き届かず、月平均収入が約 1000 ルピー未満の世帯への生計回復の必要性を確認した。

これにより、井戸建設数の内訳および地区毎の裨益者数を変更した（表 1、表 2 参照)。また、所有地の区画上、3 世帯共有が可能であったことから、全裨益者数は 82 世帯と増加した。

表 1. 井戸建設数の内訳の変更

事業地	井戸数[基]	
	変更前	変更後
ムライティブ県オッディスダン郡	13	24
キリノッチ県パッチラパライ郡	27	16
合計	40	40

表 2. 地区毎の裨益者数

郡	地区	裨益者[世帯数]	
		変更前	変更後
オッディスダン	オスィヤマライ	26	20
	マナワランパダムリプ		21
	タッチャダンバン		8
パッチラパライ	ムハマライ	54	10
	ヴァンボドゥカーニ		13
	イタヴィル		10
合計		80	82

6 月から 7 月にかけて 40 の井戸建設候補地で実施した地質調査の結果、全 40 か所において必要な湧水量を確保できると判断し、裨益者と合意の上で、井戸建設地を決定した。7 月末時点で、40 基中 10 基分の掘削が進行している。

②農業技術ワークショップの開催（82 世帯）

農業省農業局との話し合いを重ね、講師、コンテンツ、技術訓練方法、配布する種、苗を決定した。ワークショップ開催時期は、習得した知識や

技術をすぐに実践できるように、計画より早い農業用井戸建設の仕上げ期間中に開催することとした。

③マーケティングワークショップの開催（82 世帯）

これまで経験を生かし、事前に弊団体スタッフ間で裨益者の役に立つコンテンツを作成した。今後は農業マーケティングに精通する民間団体から講師を招き、コンテンツを決定する。計画通り、裨益者が配布する野菜種を用いて収穫する前に適切な価格設定や販売経路を模索できるよう、マーケティングワークショップを実施することとした。

（イ）農業組織の形成を通じたコミュニティ再生・強化支援

①農業協同組合形成および強化（5 組合計 82 世帯）

予定通り、2 地区において農業協同組合を新設し、1 地区[1]において強化支援を進めている。なお、事業地区が増加された結果、ムライティブ県同郡で、第 1 期に設立した 2 つの農業協同組合[2]に本事業（第 2 期）で選定された裨益者を組合員として吸収した。キリノッチ県も同様に、裨益者が第 1 期にムハマライ地区で設立した組合に吸収された。

農業協同組のマネジメントワークショップは、参加する運営委員の学習意欲を向上させるため、センター建設後に開催するようにスケジュールを変更した。

新設する 2 つの組合[3]に提供するドライフード生産センター用の土地は、地方行政のサポートを受け、政府所有地の寄付により 5 月末に取得した。なお、同センター建設においては地方政府の建設許可取得に時間を要しているため、計画より約 2 か月遅れる見込みである。

②井戸管理委員会の形成(20 委員会計 82 世帯)

計画通り、弊団体スタッフ間でコンテンツを仮に作成した。今後 8 月以降は、コミュニティ強化に精通する民間団体から講師を招き、コンテンツを確定し、農業協同組合が形成直後に合わせて、ワークショップを実施する。

③農業協同組合ネットワークの形成

農業協同組合間の訪問交流会は、運営や生産の課題を共有できるよう、本事業で新設した組合の活動が開始された後に実施できるようスケジュールを再調整した。

（３）達成された効果

（ア）農業生計回復支援

成果指標は、(1)農作物の収穫量の増加、(2)平均月収の貧困ライン超えとしているが、現時点では農業用井戸が建設されておらず、生産性向上・収入向上支援を実施していないため、効果を測ることはできない。裨益者 82 世帯の内、女性家長は 19 世帯、障害者家長世帯は 7 世帯、仮設住宅住まいは 9 世帯となり、全世帯の平均月収は 629 ルピーであった(表 3 参照)。

表 3. 地区毎の平均月収

郡	地区	月収（ルピー）	農業収入（ルピー）	非農業収入（ルピー）
オッディスダン	オスィヤマライ	556	229	327

[1] 計画通り、キリノッチ県パッチラパライ郡ムハマライ地区では第 1 期に建設した農業組合を拡張する。
[2] ムライティブ県オッディスダン郡マナワランパダムリプ地区、タッチャダンバン地区。
[3] キリノッチ県パッチパライ郡ヴァンボドゥカーニ地区およびムライティブ県オッディスダン郡オスィヤマライ地区。

<table>
<tr><td></td><td>
<table>
<tr><td></td><td>マナワランパダムリプ</td><td>371</td><td>104</td><td>267</td></tr>
<tr><td></td><td>タッチャダンバン</td><td>732</td><td>298</td><td>434</td></tr>
<tr><td rowspan="3">パッチラパライ</td><td>ムハマライ</td><td>845</td><td>45</td><td>800</td></tr>
<tr><td>ヴァンボドゥカーニ</td><td>1076</td><td>120</td><td>956</td></tr>
<tr><td>イタヴィル</td><td>311</td><td>35</td><td>276</td></tr>
<tr><td colspan="2">全地区平均</td><td>629</td><td>161</td><td>468</td></tr>
</table>
（イ）農業組織の形成を通じたコミュニティ再生・強化支援
各地区で開催した 2 回の裨益者集会を通じて、農業協同組合および井戸管理委員会の形成を完了したが、現時点では機能を導入していないため、効果を測ることはできない。しかし、多くの裨益者が農業協同組合の運営や収入向上活動に強い興味と意欲を示しており、支援が展開される事で成果が大いに出ることを想定している。
</td></tr>
<tr><td>（４）今後の見通し</td><td>40 基中、残りの 30 基の井戸建設契約基数を 5、6 基と小分けにし、契約業者を増やすことにより、建設工期の短縮を図る。8 月中に残りの 30 基の井戸建設を開始し、11 月の雨季に突入する前に、建設を完了する予定である。また、井戸建設スケジュールに合わせ、順次、給水ポンプ、配水ホース、フェンスを供与し、農業技術ワークショップを開催した後に種、苗、農具を供与する。
ドライフード生産センターの建設許可は 9 月上旬には取得し、建設は 11 月中には完了できる見込みである。当初は、建設されたセンターにて農業協同組合のマネジメントワークショップを実施する予定であったが、建設完了を待つことなく各地区にある集会所を借り、9 月中に実施できるよう調整した。</td></tr>
</table>